

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	フィールド調査〔フィールド研修〕（Field Survey）		
ナンバリングコード	E31410	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E047051	クラス名	-
担当教員名	本村 裕之、今西 衛、山城 興介		
履修上の注意、 履修条件	履修条件：ガイダンスに出席し、履修の意思が明確であること フィールド・スタディⅢを履修しているものは、学修時間の関係上履修しないことが望ましい。 現場での演習（土、日）があります。アルバイト、部活等の理由での欠席は認められないので、あらかじめ日程が分かっている学生は、履修しないか、規定に基づいて履修中止手続きを行って下さい。 その他備考欄を参照すること		
教科書	必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	榎並 利博「地域イノベーション成功の本質」、第一法規、2013 寺谷 篤志 ほか「地方創生」から「地域経営」へ」、仕事と暮らしの研究所 、2015 他、詳細は備考欄を参照してください。		
関連科目	地域マネジメントコース必修科目他、詳しくは備考欄を参照すること		

○基本情報		
授業の目的	地域が抱える問題を自ら発見し、問題を解決するために、創造性を発揮し、データとロジックに基づいた科学的論理思考する人材を育成し、大分をはじめとする、地域を牽引する人材へ成長を目指します。 そのために、本科目は、身近な地域での問題から、まだ見ぬ解決方法を解決す方策を学びます。本具体的には、シナリオ作成から分析手法までをイメージした調査の基礎を学ぶとともに、まちづくりマーケティングのモデル構築を紹介します。データサイエンティストを目指す学生は是非履修してください。	
授業の概要	本科目では、これまで地域で行われてきた実際の施策をもとに、地域で行うまちづくりや観光都市・エリアとしての観光まちづくりにどのような観点が必要で、どのような施策が効果的かを専門家を交えて議論します。そこで得られた知見を、フィールド調査を通じて実践していくことを目指します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー I：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	まちで起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を身につけてもらいます。		20点	20点
【知識・理解】	まちの活性化に必要なこと、マーケティングの知識を身につけてもらいます。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を身につけてもらいます。		10点	10点
【思考・判断・創造】	まちの活性化というプロでも難しい課題を、どのような切り口で考え、まちを経営するという視点からの政策提言などを身につけてもらいます。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
Sレベル： 議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Aレベル： 内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Bレベル： 課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。 Cレベル： 課題解決の提案がない 実査を行ったあと、全体で振り返りを行うことで、学習成果の確認と課題のフィードバックを行います。社会や地域が要請する課題解決に役立ててください。

○その他
参考文献 橋本 行史 編著、(2015)、『地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-』、創生社、ISBN-13: 978-4794431585 デービット・アトキンソン、(2014)、『イギリス人アナリスト国宝を守る』、講談社＋α新書、ISBN-13: 978-4062728706 川原靖弘、斎藤参郎編著(2017)、『ソーシャルシティ』、放送大学教育振興会、ISBN-13:978-4595317187 大正大学地域構想研究所/日本青年会議所「地域再興会議」編著、(2018)、『別冊地域人 地方創生に役立つ!「地域データ分析」の教科書 (地域創生のための総合情報)』、大正大学出版会 ISBN-13:978-4924297982 SAS Institute Japan株式会社、(2019)、『AI実用化のための実践ガイド～SAS Viyaではじめるアナリティクス・ライフサイクル入門～』、リックテレコム、ISBN-13:978-4865941821 Saburo Saito、Kosuke Yamashiro eds.、(2019)、Advances in Kaiyu Studies: From Shop-Around Movements Through Behavioral Marketing to Town Equity Research (New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives)、Springer、ISBN-13: 978-9811317385 倉田博史、(2017)、『大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる』、KADOKAWA、ISB-13: 978-4046020000
履修上の注意 わからないことがあれば、その都度、講義時間内、あるいは研究室、メールなどで積極的に質問してください。小さな疑問から大きな関心につながる場合があります。 この講義は、知識の習得ではなく、課題に対して創造的な発想による解決策を考えます。学ぶのではなく、解決するという姿勢で臨み、固定観念にとらわれず、自由な発想で参加してください。講義時間は、作業時間ではありません。スライド作成などは講義時間外に行ってください。
関連科目 地域マネジメントコース必修科目：社会調査法、まちづくりマーケティング、地域ブランド論、地域イノベーション論、 演習科目：フィールド・スタディⅠA、ⅠB、Ⅱ、Ⅲ、まちづくりマーケティング演習、フィールド調査 講義科目：地域経営論、観光学入門、観光ビジネス論、データ解析A、経済統計A、統計解析B、システム分析論、プログラミング入門、プログラミング言語
授業計画 講義内容については、レポートの採点結果、習熟度に応じて内容を変更する場合があります。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	フィールド調査〔フィールド研修〕（Field Survey）	授業コード	E047051
		担当教員	本村 裕之、今西 衛、山城 興介		
学修内容					
1. オリエンテーション					
講義・演習の概要を説明します。					
予習	社会調査法、まちづくりマーケティングの内容をあらかじめ復習しておいてください。				約10時間
復習	次回までに、大分都心部の課題を抽出しておいてください。				約2時間
2. 調査票の作成					
調査票を作成します					
予習	調査票の項目を考えておいてください				約2時間
復習	調査項目を精査してください。				約2時間
3. 調査票の作成					
調査票を作成します					
予習	調査票の項目を考えておいてください				約2時間
復習	調査項目を精査してください。				約2時間
4. 調査準備					
調査の準備を行います					
予習	準備のため予習はなし				
復習	調査手順を把握しておくこと				約2時間
5. 実査					
調査を実施します。					
予習	集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習	集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
6. 実査					
調査を実施します。					
予習	集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習	集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
7. 実査					
調査を実施します。					
予習	集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習	集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
8. 実査					
調査を実施します。					
予習	集中講義の連続時間のため予習は指定しません				約2時間
復習	集中講義の連続時間のため復習は指定しません				約2時間

○授業計画		科 目 名	フィールド調査〔フィールド研修〕（Field Survey）		授業コード	E047051
		担当教員	本村 裕之、今西 衛、山城 興介			
学修内容						
9. 実査						
データ収集作業を行います						
予習		集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習		集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
10. 実査						
アンケート調査を実施します。（演習）						
予習		集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習		集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
11. 実査						
データを分析します						
予習		集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習		集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
12. 実査						
データを分析します						
予習		集中講義の連続時間のため予習は指定しません				
復習		集中講義の連続時間のため復習は指定しません				
13. アフターコーディング						
データ入力の準備をします。						
予習		社会調査法の内容を復習しておいてください。				約2時間
復習		社会調査法の内容を復習しておいてください。				約2時間
14. データ入力						
集めたデータを入力します。						
予習		社会調査法の内容を復習しておいてください。				約2時間
復習		社会調査法の内容を復習しておいてください。				約2時間
15. データ分析						
集めたデータを分析します。詳しい分析は、ゼミナール、関連科目で行います。						
予習		社会調査法の内容を復習しておいてください。				約2時間
復習		社会調査法の内容を復習しておいてください。				約2時間
16.						
定期試験はありませんが、学内外での発表、演習の活動を重視します。						
予習						
復習						